



ABS秋田放送杯 第19回 サファイア賞 (M3)

盛岡競馬場3歳オープン・芝1700m

6月28日(日) 18:15発走

サファイア賞の創設は2007年。第1回から第7回まで3歳特別・盛岡芝2400mを舞台に行われ、第8回(2014年)から重賞へ格上げ。第12回、13回は特別で行われましたが、第14回から再び重賞へ格上げされました。昨年から距離が芝1700mへ短縮。1着から3着馬には地方競馬全国交流「第27回オパールカップ」(7月28日)の優先出走権が与えられます。昨年は8番人気サンカリブソが快勝。坂井瑛音騎手に初重賞をプレゼントしました。

【注目馬情報】

★セイクリスティーナ 牝3歳 佐々木由則きゅう舎・水沢

デビュー戦は出遅れも影響して2着でしたが、2戦目から破竹の4連勝。若鮎賞、交流・ジュニアグランプリと芝重賞を連勝し、ダートに替わっても若駒賞を完勝しました。続く牝馬交流・プリンセスカップは3着でしたが、寒菊賞を圧勝。2歳最優秀馬へ選出されました。今季も牝馬路線であやめ賞、交流・留守杯日高賞を連勝。好発進を決めました。前走・東北優駿は2着に終わりましたが、その後はサファイア賞へ照準を合わせて調整。2戦2勝の盛岡芝を舞台に、前走のうっ憤を晴らします。

★イタズラベガ 牝3歳 菅原勲きゅう舎・水沢

昨年1勝のみながら2着5回。重賞・若駒賞、寒菊賞、金杯で2着に粘りました。今シーズン当初2戦は二けた着順に沈みましたが、3戦目2着で復調気配をうかがわせ、重賞・イーハトーブマイルでも2着を確保しました。盛岡芝は交流・ジュニアグランプリ3着などで問題ないのは証明済みです。

★トゥーナスタディ 牡3歳 齋藤雄一きゅう舎・盛岡

盛岡ダート戦で2勝後、芝重賞へ名乗り。若鮎賞、ジュニアグランプリで2着を確保し、JRA中山・芙蓉ステークス9着。今年はGII・青葉賞へ挑戦しました。前後して大敗を続けていますが、前走後は盛岡芝がスタートするまで待機。じっくり立て直しを図り、反撃に意欲満々です。

★ソラーロ 牝3歳 千葉幸喜きゅう舎・水沢

中京芝2000m・2歳新馬戦を完勝。5頭立てながら鮮やかな逃げ切りを決めました。1勝クラスでは苦戦を強いられ、盛岡芝を求めて転入。小回り芝では先行力が最大の武器となるでしょう。

★コロッセウム 牝3歳 橘友和きゅう舎・盛岡

札幌芝1500m・2歳新馬戦で2番人気に支持されて3着。その後は5着1回が最高でしたが、岩手初戦でロングスパートを決めて快勝。これで弾みがついたのは確実。相手は大幅に強化されましたが、芝なら通用十分。

★チェンドル 牝3歳 板垣吉則きゅう舎・水沢

函館芝1800mで3着、札幌芝1800mで4着の実績があり、転入3戦目の盛岡ダート1400m戦で初勝利を飾りました。以降2戦は着外でしたが、盛岡芝と同じ洋芝コースで好走したのは心強い材料です。

文／松尾 康司